

# 友利監督、涙で「感無量」 黄金世代の才能引き出す

○：本大会で神森中学校のメンバーは、春の全国選抜大会、夏の全国中学校大会に続き、3冠を達成した。そのうち主将の伊禮颯雅、

親泊寛幹、照屋拓実、照屋慶剛、村山倭輝、高西颯斗は神森小出身。6人は2015年の全国小学生大会で優勝し、16年にはコロン

ジュニアとして第5回JHLジュニアリーグ優勝決定戦も制した。神森中としての優勝と合わせて、計5回の全国の頂点に立っている。

そのスーパースターらを指導する友利彬彦監督も神森中時代にJOC大会で優勝経験があり、那覇西や日体大でもハンドボール部で活躍した。今回の3冠獲得に、にじむ涙をぬぐいながら「感無量です」としみじみと語った。

小波津周史コーチは前回、JOCの監督を務めるなど経験が豊富だった。さらにもう一人のコーチで伊禮の父・尚武さんは興南高校、日体大でGKとして活躍してきた人物で、神森中ハンド部やJOCの練習も指導してきた。3冠は選手と監督・コーチ陣含めた「黄金世代」の勝利だった。



全国制覇を果たし、選手から胴上げされる沖繩選抜男子の友利彬彦監督